

## 診療所だより

マニラ首都圏レプトスピラ症のアウトブレイク！

フィリピン厚生省 (DOH)

マニラ日本人会附属診療所 菊地 宏久

このたびの西日本での豪雨災害により被災されました方々にお見舞いを申し上げます。被災2週間後の2018年7月19日に被災地・愛媛県大洲市を訪れました。家屋や家財道具・電化製品は泥で覆われ、全てが家前や道沿いに廃棄されていました。住める状況ではありません。自動車も泥水に覆われエンジンはかかりません。飲料水も調達困難で自衛隊の給水車が提供していました。被災された皆さんは精神的・肉体的に疲弊され、慢性疾患のある患者さんは持病の悪化も懸念されました。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今回はレプトスピラ症について書きます。

The Department of Health (DOH) on July 5<sup>th</sup> declared an outbreak of leptospirosis in 18 barangays in Metro Manila. (ABC-CBS news のインターネット版より)

上記のように7月5日、フィリピン厚生省により「マニラ首都圏にレプトスピラ症のアウトブレイク」が発令されました。

レプトスピラ症は保菌動物のネズミ、犬、ブタ、家畜などの尿などによって汚染された洪水の水や泥などとの接触や経口感染によって起こる細菌感染症です。

DOHによれば、2018年1月から7月3日までに368名の患者が報告され、このうち52名が亡くなっています。

アウトブレイクの指定がなされた地区にはケソン市や日本人学校が位置するタギック市も含まれています。

レプトスピラ症の症状は発熱、頭痛、筋肉痛、結膜充血などのインフルエンザやデング熱とよく似た症状を伴いますが重症化すれば黄疸や出血、腎不全（ワイル病）、ショックで死に至ります。

フィリピンは現在雨期です。数時間の雨が降れば道路は冠水し、汚染された水が道の上を流れ、低地に大きな水たまりを作ります。必要に応じて長靴を履いたり、下肢の外傷に気を付けるなどの注意が必要です。

皆さんお体大切になさってください。